

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

鳥取県 若狭町

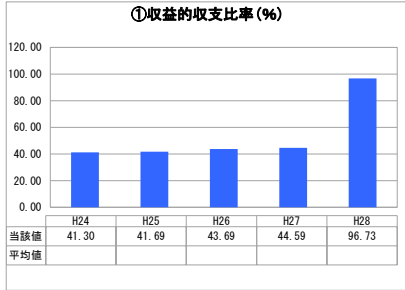
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	80.42	100.00	3,780

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,432	199.18	17.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,743	1.26	2,176.98

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



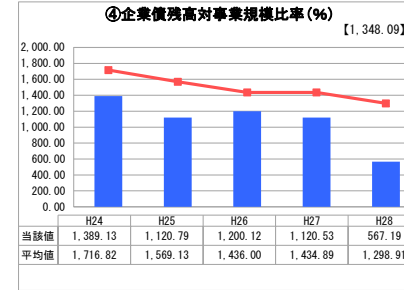
「単年度の収支」



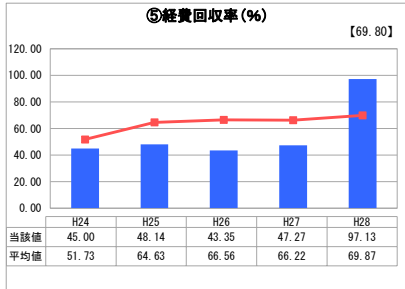
「累積欠損」



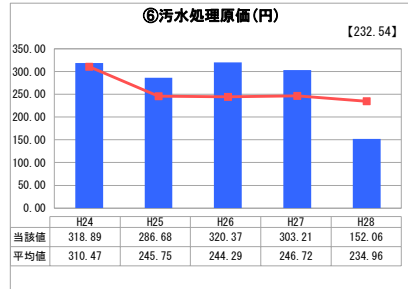
「支払能力」



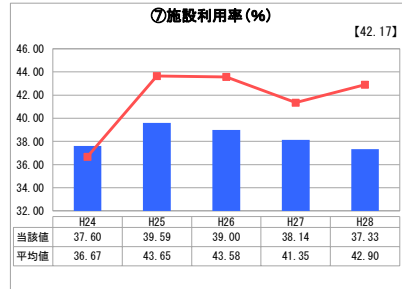
「債務残高」



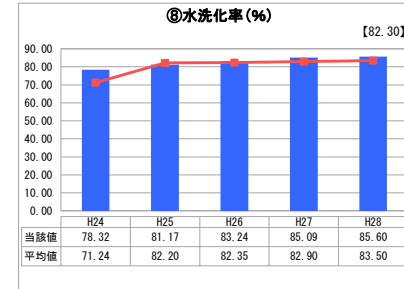
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

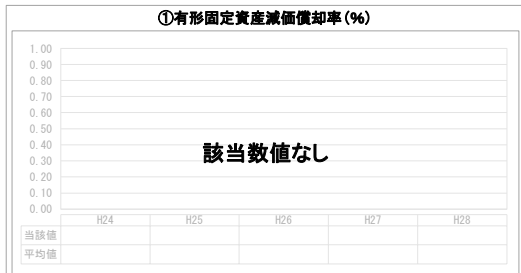


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

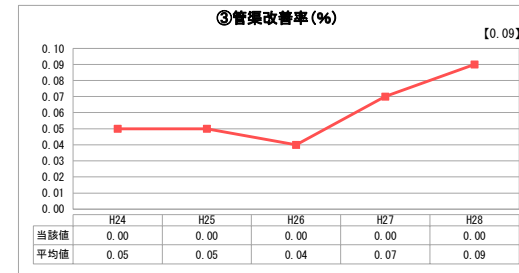
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

今年度において経費の入力区分を見直し、計上数値の適正化をおこなったことから、収益的収支比率が急激に上昇し、単年度の収支が改善され、今後もしばらくは収支比率が比較的高い数値になることが予想される。

また、企業債残高対事業規模比率についても、今年度の計上数値の適正化に伴い、急激に減少し改善されたが、H27年度より長寿命化計画に伴う施設更新・改修による整備費用が新たに必要になっており、収支比率の改善が将来にわたって続いていくわけではない。

さらに、計上数値の適正化をおこなったことによる経費回収率、汚水処理原価等が改善されたことに対しても、人口減少による使用料の減額等が予想され、継続困難であることから、適正な使用料収入確保及び汚水処理費の削減等による一層の経営改善が必要と考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

平成22年に管渠の改善をおこなって以降、更新はおこなわれていなかったが、平成27年度より長寿命化計画に基づく施設の更新・改修をおこなっている。

### 全体総括

人口減少に伴い収入の減少傾向が予想されるが、長寿命化計画に基づく施設更新・改修による整備費用が増加している。

このため、今年度の経費の入力区分見直し・計上数値の適正化に伴う収支改善に安心することなく、収入確保及び汚水処理費の削減等による一層の経営改善が必要と考えられる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。